



「この季節が一年で最も忙しいですが、どんなに忙しくても、お客さんには気持ちよく買い物をしてもらえるよう、心がけています」
駅前通りに面したスポーツ用品店で店長を務める滝口さんは、ひとりひとりの

公私ともに充実の一年に

滝口直寿さん

[1983 (昭和 58) 年生]

お客さんに対し丁寧な接客を心がけていると話す。
「昨年是一年目の子どもを授かり、公私ともに忙しくなってきたという滝口さんは、「家族が増え、忙しさも増しましたが、それ以上に楽しさが増えました。今年は家族との時間も大切に、仕事もこれまで以上に、充実した一年にしていきたいです」と今年の抱負を話した。



小学5年生の新井さんは、小学校低学年の頃から夏は陸上競技、冬はクロスカントリースキーに取り組んできた。そして昨年、バスケットボール少年団に入団し、自身が苦手としていた球技の楽しさを覚える

目標を持って、楽しい一年を

新井朝海さん

[2007 (平成 19) 年生]

ともに、チームメイトと勝利の喜びを分かち合える団体競技のおもしろさに気づいたという。
「今年は、これまでやってきたスポーツを続けることでさらに体力をつけて、トレイルランニングも頑張りたい」と目標を語った。
さらに家庭では、「学校の調理実習で学んだことを活かして夕飯を作るなど、お母さんのお手伝いをしたい」とも話している。



2019年

私の決意

年男・年女が語る



大代さんは俱知安町に生まれ育ち、平成29年4月から羊蹄山ろく消防組合俱知安消防署の消防職員として勤務している。
「昨年は、2年目の消防士として現場に出ることも増え、さまざまな業務を通

訓練に励み、その成果を大会で

大代佳明さん

[1995 (平成 7) 年生]

して、経験を積むことができました」
今年は全道消防救助技術訓練指導会への出場を予定しており、昨年も訓練に励んできたという。
「訓練の成果を全道大会で発揮し、全国大会に出場したい」と話す大代さんは、今後さらに努力を重ね、山岳救助隊や水難救助隊など特殊な現場で人命を救う消防職員を目指したいと、目標を語った。



長年、町の社会福祉協議会に勤務した富士池さんは、現在、町内会役員のほか、町内会の老人クラブ副会長や俱知安地区保護司会の事務局を務めており、昨年は、忙しいながらも楽しい1年だったと振り返る。

笑顔で明るい地域を目指して

富士池 勇さん

[1947 (昭和 22) 年生]

「町内会役員としては、約40年、さまざまな活動に携わってきました。人と人との関わりを大切に、これまでやってきました」と話す富士池さんは、これからの目標について、「今後は、町内会活動などにおいて、子どもたちの参加を促すよう取り組むことで、親世代や高齢の人たちが笑顔になれる、明るい地域づくりに繋がるよう、努力したい」と話していた。